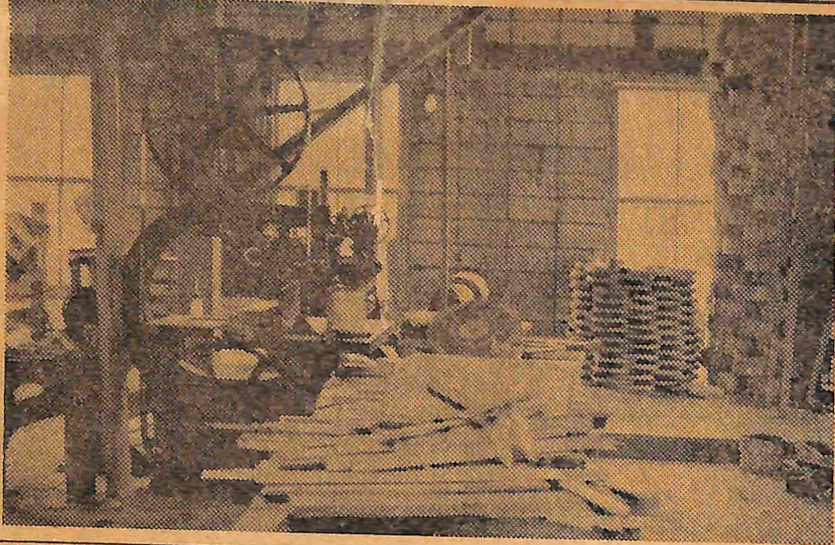


丹場さんの 曲げ物 海を渡る

「写真」量産できる設備をもって丹場工芸社の工場」



長年の工夫が実結ぶ

明春には米国と西ドイツへ

当町新富町の丹場多左衛門さん(丹場工芸社主)は、輸出向けの曲げ物作りで知られ、数年前からよくにくふうを重ねて作った曲げ物が明春、アメリカ、西ドイツなどで開かれる「見本展示会」に出展することになり、去る五日には、日本貿易振興協議会から派遣された高橋安史(五所川原市出身、デザイナー)が来社するなか、その成果が期待されています。

明春、海を越えて見本展示会に出展されるのは、イタヤを材料にしたオードブルセット(お菓子やつまみ物を入れる容器)写真)でこのセットは、イタヤの白い木地をそのままラッカー塗料で生かして作り、直径三十三センチの丸いお盆に、朱(し)色と黒色の小容器を三つずつ交互に配置したきれいな曲げ物です。

丹場さんは、これまでのセイロやクワッパなどで代表されてきた曲げ物では「金銅や樹脂製品におおされて、すたれる一方だ」と早くから気づき、県観光課や木工指導所の指導を仰ぐとともに、自らもくふうをこらし、近代的な感覚をもった曲げ物を作ることに成功したのです。

輸出向けの曲げ物に自信をもったのは、昭和三十五年五月、日本手芸品対策輸出推進計画のもとで、弘前市で開かれた「見本展示会」に出展した丸型のお盆がアメリカ巡回展班長ラルフ・M・チペノのおめがねになったこと、同年にその業績が通産省から認められ中小企業輸出振興奨励補助金をもらってからだということです。

それからは、東京、横浜など全国主要都市で開かれる木工祭や、見本市などに出品、毎回入賞して

げ物は、皆さんの指導を得て作っていきたくと考えています。高橋デザイナーの話「私は、五所川原市出身ですが、丹場さんの曲げ物を東京で見、一見してこれはスバラシイと感じました。ただ配色が、現在のアメリカには向かないのではなかと考えます。日本ブームで一時日本のものが流行したけれど、実用向きのもの種ものは、やはりアメリカ人の建て物、家具にマッチした色がよいと思います。たとえば緑とか紫など……。そして曲げ物でできるものを、もっと多く作ってほしいかがですか。」



さん売れるようになれば、このオードブルセットは、七、八百円程度で出せるのですが……。これもイタヤとヒバの近代的な曲

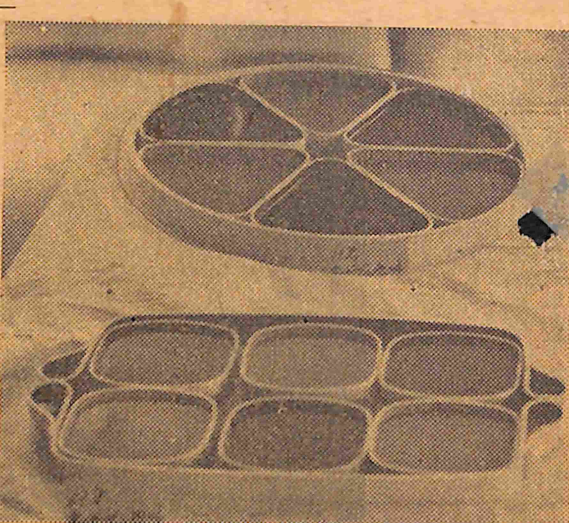
野球でできる校庭に

大東ヶ丘分校に 善意贈る今与さん

キャッチボールもできないほどちっぽけな校庭を、自分の力で使っているブルドーザーで見ることができるようになってくれたという、ともしれば、二、三メートルばかり多いこの町の社会にあって、私たちの心を暖めるような明るい話題が金木町にあります。

話題の主は、金木町喜良市今与建設社長今与八郎さん(今与八郎)さん。いま、大東ヶ丘分校から大倉岳に至る金木山林道の請け負いの仕事をやっていますが、いつも工事現場へ向かう途中、金木小学校大東ヶ丘分校のせまき校庭を見、これでは遊ばざるかの子供たちがかわいそうだと

校庭を見て、いままで満足に運動会もできなかった二十九人の分



写真—オードブルセット、丸型のものが激賞されました

会長に花田氏を選任

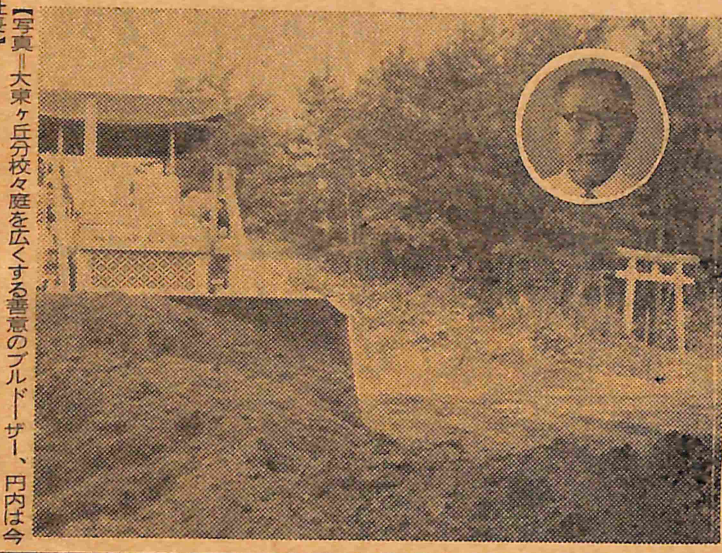
農委組織会 代理には成田氏

去る七月一日に開かれました。

この組織会は、招集者である三上町長があいさつ、経過報告のあと、委員である花田農議が議長と推挙された。その結果は次のとおりです。

花田会長 月十五日に、農業委員の選挙が行なわれ、その結果は次のとおりです。

成田代理 末日までには学識経験者お



【写真】大東ヶ丘分校校庭を広くする善意のブルドーザー、内内は今社長】

議員花田一(学識) 農地部会委員 中谷藤太郎(学識) 佐藤忠太郎(学識) 葛西与助(喜良市共済組合) 三上菊次郎(公選) 棟方清八郎(公選) 原田富五郎(公選) 吉田兼一(公選) 松川清一(公選) 外崎栄(公選) 白川嘉四郎(公選) 泉谷隆太郎(川倉農協) 前田礼之助(金木農協) 西村正治(公選) 伊藤清忠(公選) 津島正次郎(公選) 成田善藏(公選) 山崎善司(公選) 吉崎善雄(公選) 振興部会委員(印は農地部会委員を兼ねる)

沼田政孝(公選) 原田勘衛門(西北養鶏農協) 桑田一生(公選) 佐藤忠太郎(学識) 外崎栄(公選) 中谷清行(公選) 竹内正雄(公選) 伊藤正一(公選) 白川徳政(公選) 山中京治(公選) 吉田兼一(公選) 原田富五郎(公選) 白川嘉四郎(公選) 古川市四郎(喜良市農協) 古川角雄(公選) 竹内佐右衛門(金木町共済組合) 秋元武治(学識) 津島正次郎(公選) 沼田茂(北地酪農農協) 秋元幸之進(新瀬農協) 泉谷敏夫(北地酪農農協)

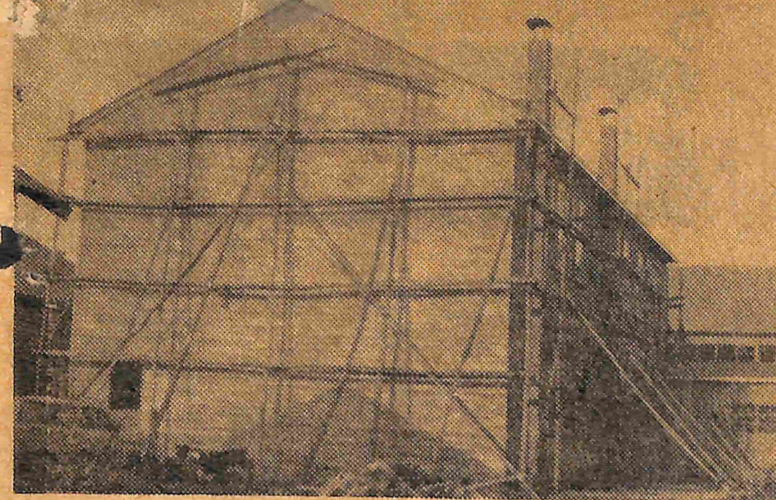
登録申請はもれなく 選挙名簿は9月15日現在で 金木町選挙管理委員会では、毎年九月十五日現在で基本選挙人名簿を調製していますが、本年は、九月十五日ごろ申請用紙を毎戸に配布し、九月末まで締め切ることになりました。同選挙事務局では「明年一月には町議会議員の選挙もありますので、有権者はもれなく届け出てください」と要望しています。有権者の条件は次のとおりです。

新任所長に佐藤正己先生 昭和三十六年九月一日から閉鎖していた喜良市診療所が、満一年ぶりに再開されることになり、郡民をホットさせました。

町税は納税組合で 納めやすく報償金がもらえる 税金といえは、なんとなく苦しいやな感じの言葉ですが、国民である以上、また県民、町民である以上、どうしてもこの税金からのがれることはできません。

町税は納税組合で 納めやすく報償金がもらえる 税金といえは、なんとなく苦しいやな感じの言葉ですが、国民である以上、また県民、町民である以上、どうしてもこの税金からのがれることはできません。

第3回 自作農維持資金 借り入れの申し込みを 受け付けています 締め切り期日 9月15日 金木町農業委員会



【写真一完成間近の金高増築教室の現場】

組合立から、ことし四月に県立となった金木高等学校では、教室不足の不便を解消することに、今年度は予算約七百五十万円で、九月二十日頃には壁土の見込みなので、先生方はもちろんのこと生徒たちも大喜びです。

今回増築されるのは、木造 階建て五百三十九平方メートル、エルタル仕上げの四教室で、一階は普通教室一、階下は家庭科の調理室と準備室となっています。

同校の生徒数は、現在三百四十人で、いままでは柔道の道場を一つに任じたのを入れた九教室で間にあわせていたのですが、こんどの増築で、ようやくひと安心と喜んでいます。

金高 教室は近く完成

明年度には完全校舎

しかしながら、県立に移管になる計画だという明るいニュース。たばかりの金木高校は、さらに入っており、この計画が実現すれば、生徒数が増えるので、これまた心なれば完全な校舎となり、名実とも配のタネとなつていますが、明三に郡北唯一の教育センターとなる十九年度中には普通教室三、音楽、ので、地域住民からは大きな期待室一、被服室一、理科室二を増築一がかけられています。

往復

昨年、上北町の栄沼のヘリコプターによる水稲の直播が成功したといわれ、当地ではこの春、弘大木農協が試験的に実施したと聞いていますが、現在どんな状況かお知らせください。

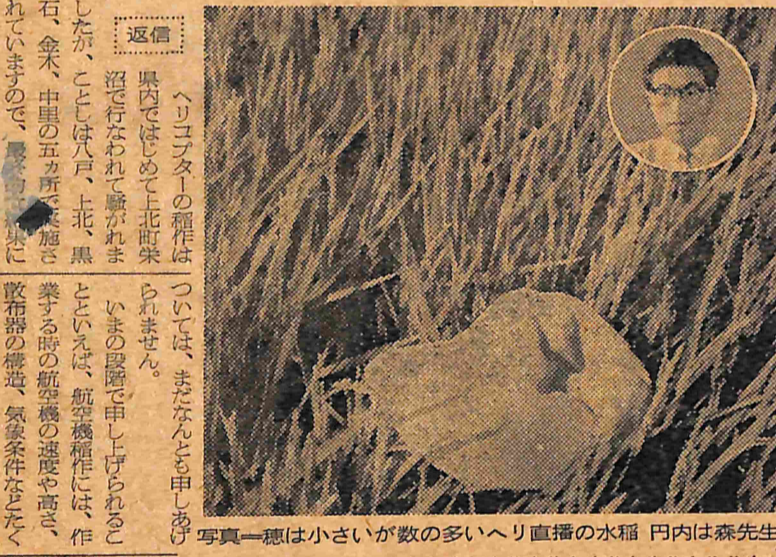
金木町 農協 吉田登志一(一)

返信

ヘリコプターの直播については、またなんとも申しあげられませんが、

いまの段階で申し上げられることは、

石、金木、中里の五カ所、実施されていますので、農協の調査に



写真一穂は小さいが数の多いヘリ直播の水稲 円内は森先生

見通しは明るいが 基礎的な諸条件が問題

中央に対して陳情を続けているが、農平均を三割下回っているのが、他地域との所得格差の是正をはからなければならぬ。

当地域は幸い、青函トンネルや津軽線状態ならびに津軽林道の重要性が認識され、その実現の可能性があるが、地下資源にもめぐまれているので、農林水産業の総合的な開発(関連させての「津軽半島総合開発計画」策定の作業を進めている。(農政報告)

②商工行政の基本方針としては、農内企業の高高度近代化をはかる。また、金融の円滑化をはかること、個々の企業の育成をはかるため、個別診断、集団診断の実施による体質改善の促進を考えている。(農政報告、問い「大橋商工会長」)

△その他

△金木川の改善事業は、灌漑事業として実施中であるが、全体計画の事業費は六千五百万円、施行延長三千四百七十七メートル、うち昨三十七年度までの実施事業費は一千七百七十万、延長二千九百九十九メートル、本年度は、時田地区内の右岸築堤事業費二千二百四十万、延長六百十メートル、昭和三十七年度までに完成の予定である。(農政報告)

△商工関係

①津軽半島地域の所得水準が、国有林野の解放問題については、

②高率補助については、現在、土壌改良事業(区画整理)に対して、市浦、小泊の各村に設置する予定である。(農政報告)

③国有林野関係

④農産物加工事業の推進

国営事業まで現在実施している地改良事業(区画整理)に対して、津軽水産事業や、現在調整段階にある小田川地区の土地改良事業、助成は七割五分となっている。市(小田川ダム関係)など津軽総合、町村でも助成措置を講ずれば結構

⑤農産物加工事業の推進

国営事業まで現在実施している地改良事業(区画整理)に対して、津軽水産事業や、現在調整段階にある小田川地区の土地改良事業、助成は七割五分となっている。市(小田川ダム関係)など津軽総合、町村でも助成措置を講ずれば結構

⑥不慮な天候対策として農業気

移動県庁...中里会場より

この日の座談会には、県側からは竹内知事、平野副知事、菊池出納長はじめ、各部局長ならびに副本教育長、樹島県警本部長ら約六十人、地元側として関係町村長、住民代表、それに来賓として花田鳴海、成田の各県議が出席し、傍聴者も約二百人ほど集まり盛大なものでした。

竹内知事は「県政運営の目標は、ひと口に『いっとう』県民の皆さんが幸せに暮らすことのできる県政にすべきが、地域の実情を知ることは施策の根本条件でなければいけないと考え、今後も、あらゆる機会を利用して住民との話し合いの場を作りたい」とあいさつし、ついで、県政の実情について、そのあらましを約一時間

聞にわたって報告したあと、長谷川小泊村長の司会で座談会が進められました。

座談会には秋元(正)議長、中村(健)金木農協専務、大橋商工会長、今(誠)教育委員、安田金木連合青年団長、木立(久)金木連合青年団長、米谷(善)PTA金木連合会長、中村(美)防犯協会会長ら八氏が当町を代表して参加しましたが、知事の県政報告および座談会から当町に関係ある主なものについて、県側の見解をあげれば次のとおりです。

△農業関係

①農業技術センターの設置

農村の中堅青年の養成については、移動農業大学を開設して技術指導にあたるが、金木町に農業技術センターを設置することを検討する。(問い「今(誠)教育委員」)

②養鶏指導所の移転増築

養鶏指導所の現況では、地域農民の要望にそぐわないところがあるので、同所の移転増築については検討中であるが、森田村に設置する養鶏試験所には養鶏部門を入れていない。(問い「秋元議長」)

③弱小農協の経営上の赤字について

県費を助成することは考えられないが、農業の統合や近代化(小田川ダム関係)など津軽総合、町村でも助成措置を講ずれば結構

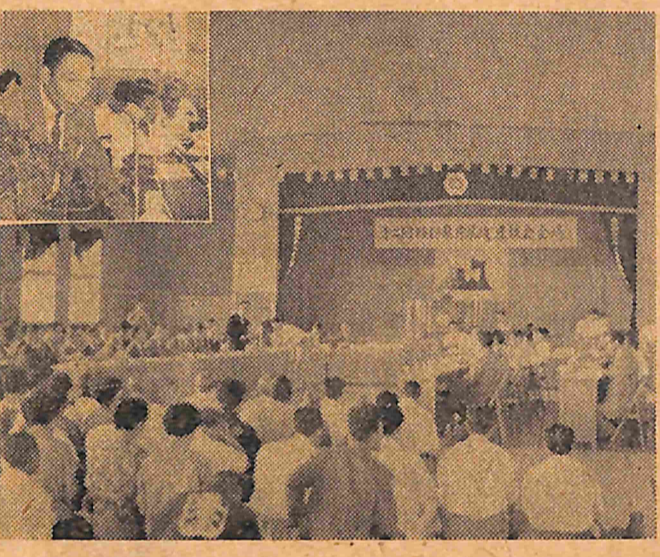
④農産物加工事業の推進

国営事業まで現在実施している地改良事業(区画整理)に対して、津軽水産事業や、現在調整段階にある小田川地区の土地改良事業、助成は七割五分となっている。市(小田川ダム関係)など津軽総合、町村でも助成措置を講ずれば結構

⑤農産物加工事業の推進

国営事業まで現在実施している地改良事業(区画整理)に対して、津軽水産事業や、現在調整段階にある小田川地区の土地改良事業、助成は七割五分となっている。市(小田川ダム関係)など津軽総合、町村でも助成措置を講ずれば結構

代表者8氏が参加 当町に農業技術センターを



代表者8氏が参加 当町に農業技術センターを

中央に対して陳情を続けているが、農平均を三割下回っているのが、他地域との所得格差の是正をはからなければならぬ。

当地域は幸い、青函トンネルや津軽線状態ならびに津軽林道の重要性が認識され、その実現の可能性があるが、地下資源にもめぐまれているので、農林水産業の総合的な開発(関連させての「津軽半島総合開発計画」策定の作業を進めている。(農政報告)

②商工行政の基本方針としては、農内企業の高高度近代化をはかる。また、金融の円滑化をはかること、個々の企業の育成をはかるため、個別診断、集団診断の実施による体質改善の促進を考えている。(農政報告、問い「大橋商工会長」)

△その他

△金木川の改善事業は、灌漑事業として実施中であるが、全体計画の事業費は六千五百万円、施行延長三千四百七十七メートル、うち昨三十七年度までの実施事業費は一千七百七十万、延長二千九百九十九メートル、本年度は、時田地区内の右岸築堤事業費二千二百四十万、延長六百十メートル、昭和三十七年度までに完成の予定である。(農政報告)

△商工関係

①津軽半島地域の所得水準が、国有林野の解放問題については、

②高率補助については、現在、土壌改良事業(区画整理)に対して、市浦、小泊の各村に設置する予定である。(農政報告)

③国有林野関係

④農産物加工事業の推進

国営事業まで現在実施している地改良事業(区画整理)に対して、津軽水産事業や、現在調整段階にある小田川地区の土地改良事業、助成は七割五分となっている。市(小田川ダム関係)など津軽総合、町村でも助成措置を講ずれば結構

⑤農産物加工事業の推進

国営事業まで現在実施している地改良事業(区画整理)に対して、津軽水産事業や、現在調整段階にある小田川地区の土地改良事業、助成は七割五分となっている。市(小田川ダム関係)など津軽総合、町村でも助成措置を講ずれば結構

ヘリコプター作業スケジュール

回	作業	月日	投下物	農薬名
1	種まき	5.10	種籾	
2	雑草除去	5.15	液剤	武田メルスタム
3	除草	5.28	液剤	スタム
4	除草	6.4	粒剤	パムコン
5	除草	7.5	粒剤	MCP-B
6	イネ防除	8.3	粒剤	チオス
7	同上	8.15	液剤	同上
8	イネ防除	8.28	液剤	プラエスM
9	乾草	9.28	液剤	デンコン

参考までにヘリコプター作業のスケジュールを表示しておきます。また紙上ではなかなか意をつくせぬところもあつて、直接見ていただく話を聞いていた方がよいと思つておきます。

弘大金木農協専務 助教 森 敏夫

ハンドトラクター (耕うん機) の試験

九月十二日(木) 申し込み締め切り

十四日(金) 講習

十五日(土) 講習

十九日(木) 法令試験

二十日(金) 実地試験

二十一日(土) 予備

場所 金木警察署か金木町青年研修所(申し込み多数により決定)

申し込み先 金木警察署(駐在所でも可)

申し込みに必要なもの

①ハンコ ②写真三枚 ③受験料 八〇〇円

空機による直播栽培の見通しは非常に明るいものがあるといふことと、個々の企業の育成をはかるため、個別診断、集団診断の実施による体質改善の促進を考えている。(農政報告、問い「大橋商工会長」)

△その他

△金木川の改善事業は、灌漑事業として実施中であるが、全体計画の事業費は六千五百万円、施行延長三千四百七十七メートル、うち昨三十七年度までの実施事業費は一千七百七十万、延長二千九百九十九メートル、本年度は、時田地区内の右岸築堤事業費二千二百四十万、延長六百十メートル、昭和三十七年度までに完成の予定である。(農政報告)

△商工関係

①津軽半島地域の所得水準が、国有林野の解放問題については、

②高率補助については、現在、土壌改良事業(区画整理)に対して、市浦、小泊の各村に設置する予定である。(農政報告)

③国有林野関係

④農産物加工事業の推進

国営事業まで現在実施している地改良事業(区画整理)に対して、津軽水産事業や、現在調整段階にある小田川地区の土地改良事業、助成は七割五分となっている。市(小田川ダム関係)など津軽総合、町村でも助成措置を講ずれば結構

⑤農産物加工事業の推進

国営事業まで現在実施している地改良事業(区画整理)に対して、津軽水産事業や、現在調整段階にある小田川地区の土地改良事業、助成は七割五分となっている。市(小田川ダム関係)など津軽総合、町村でも助成措置を講ずれば結構